

ブッダが 説いたこと

ブッダが説いたこと

ワールポラ・ラーフラ 著

今枝由郎 訳



「人間は誰でも、決意と努力次第でブッダになる可能性を秘めている」。スリランカ出身の学僧ワールポラ・ラーフラ(1907-97)は、最古の仏典に収められたブッダのことばのみに依拠して、仏教の基本的な教えを体系的に説いた。究極真理をめざす実践の本質とは？ 近代精神を意識して書かれた英語圏最良の仏教解説書。1959年刊。



番 343-1
岩波文庫

入場無料
120席
先着順

Timetable

13:30~ 開演
13:30-13:45 趣旨説明
13:45-15:15 講演(今枝)
15:15-15:30 休憩
15:30-16:15 質疑応答

環境大学学内特別研究費助成事業

秋の仏ほっとけ会(第3回)

2017.11.18(土)

県民ふれあい会館 講義室

TEL 0857-21-2266 <http://fureaikaikan.jp/>

13:30開始(開場 13:00~)

主催・事務局(問い合わせ先):

公立鳥取環境大学 保存修復スタジオ

TEL/FAX.0857-38-6775 (鳥取市若葉台北1-1-1)

hozonsufuk@kankyo-u-ac.jp

(問い合わせはメールかFAXをお願いします)

人間はだれでも、決意と努力次第で
ブッダになる可能性を秘めている

仏

教はアジア各地で多様な変容を遂げ、本来の姿から遠ざかっていった。本講演では、岩波文庫のベストセラー『ブッダが説いたこと』(ワールポラ・ラーフラ 著/今枝 由郎 訳 2016年)に基づき、今に残る古代インド仏典のみに依拠してブッダ本来の教えを今枝由郎教授(京都大学特任)がやさしく解説します。

講演者: 今枝 由郎

(京都大学こころの未来研究センター特任教授・元フランス国立科学研究所CNRS研究ディレクター)